

記者発表（配付）資料

令和6年3月19日

所属部課	部長	課長	担当	連絡先
萩市保健部 地域医療推進課	廣石泰則	中村雄一郎	中村雄一郎 石橋捺美	0838-25-2182

件名	大島診療所に遠隔医療システムを導入します ～遠隔から離島医療を支援～
----	---------------------------------------

萩市では、離島医療を支援する公益財団法人からの寄付を受け、大島診療所に遠隔医療システムを導入しますので、お知らせします。

1 導入日時・場所

○日時 令和6年3月21日（木）午後3時頃

○場所 萩市国民健康保険大島診療所（萩市大島5番地9）

2 導入の目的

大島は本土から約8kmに位置する離島です。島内唯一の医療機関である大島診療所には、山口県から派遣された自治医科大学卒業の若手医師1人が常駐していますが、島内の医療を1人で担うことから、肉体的、精神的にも大きな負担が掛かっています。そのため、遠隔からベテラン医師や専門医が診療をサポートできる遠隔医療システムを導入することで、若手医師の負担軽減と診療の質の向上を図ります。

3 遠隔医療システムとは

大島診療所と遠隔地の医師をオンラインで繋ぎ、リモート操作が可能な医療システムです。超音波診断装置などの周辺医療機器と接続し、遠隔から患者の容体を把握することができます。

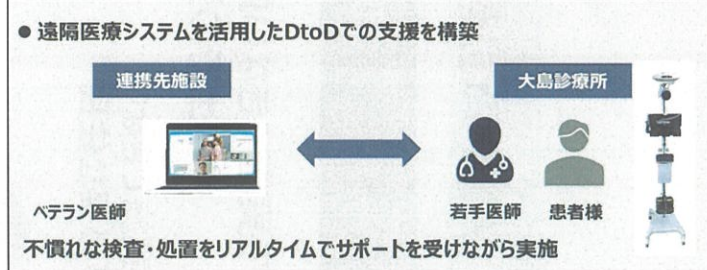


遠隔医療システム

Teladoc HEALTH 新型カート

4 期待される効果

- (1) 遠隔からベテラン医師や専門医が診療をサポートすることで、診療の質の向上や住民サービスの向上に繋がります。
- (2) 若手医師の負担軽減など診療環境を向上させることで、若手医師の確保及び育成を図ります。



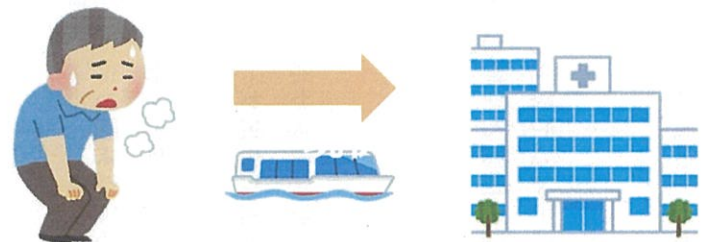
遠隔医療システムを活用したDtoD診療体制の構築

現状

大島で実施できない処置・検査を受けるには
本土での受診が必要

大島で実施できない
医療が必要な住民

本土の
医療機関



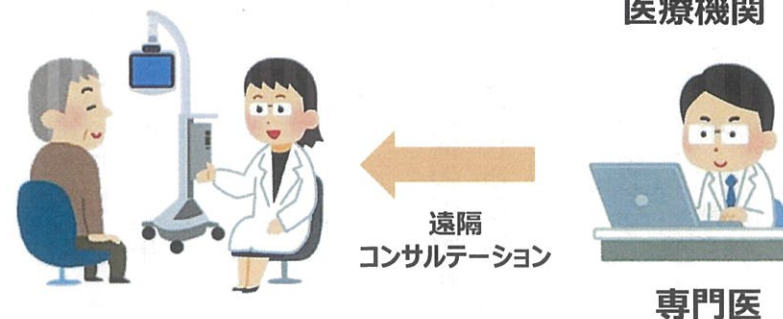
- 派遣医師は2年ごとに交代になるため、専攻する診療科の相違等から実施できる医療の範囲に差が発生する。
- 派遣医師から、気軽に上級医・専門医相談できる環境がなく精神的な負担が大きい

今後

遠隔医療システムを活用したDtoD診療体制の構築

大島診療所

本土の
医療機関



- 遠隔からのサポートを受けられることで実施可能な処置・検査が増え診療の質が向上
- 住民の受診にかかる負担を軽減

記者発表（配付）資料

令和6年3月19日

所属部課	部長	課長	室長	担当	連絡先
萩市商工観光部観光課 花と緑の推進室	村田 卓二	藤田 将一	高杉 正毅	後藤 優気	0838-25-3644

件名	南明寺のイトザクラが満開です
----	----------------

今シーズンは例年通りの開花開始となり、18日に満開を迎えました。

天候がよければ10日後（28日頃）まで楽しめます。

南明寺は南明寺山の中腹にあり、大同元年（806）の創建と伝えられ、萩でも最も古い由緒を持つ寺院です。

その下の寺の前庭のサクラは昔から有名で「南明寺のイトザクラ」として親しまれています。現在、萩市の花見の名所は指月公園ですが、藩政時代はもっぱらこの南明寺がサクラの名所で、彼岸過ぎの開花時期には城下の多くの人々が花見に訪れていたほか、開花が早く他のサクラが咲く頃には散っていることから、萩の方言をもじった「南明寺のイトザクラ、散っちゃあ、行っちゃあ、見ちゃああっても、咲いちゃあ、行っちゃあ、見ちゃあない」という早口言葉もあります。

これらの様子が藩政時代の観光マップと言われる「八江萩名所図画（やえはぎめいしよずえ）」にも「老いも若きも糸桜に由緒を求め・（中略）実に春遊佳境の一にして、勝景筆につくしがたし」と当時の風情が描かれています。

古文書から1650年代の植栽が考えられ、350年以上の樹齢が想定されます。

南明寺下寺・南明寺の糸桜
〒758-0061 山口県萩市椿633-1



八江萩名所図画

春おたからマップ

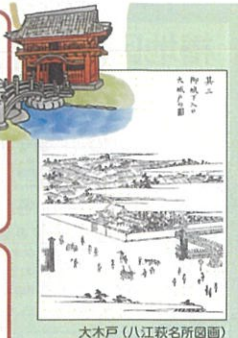
萩の玄関口・椿を巡る

- 5 大照院
- 4 椿八幡宮
- 3 萩駅
- 2 大木戸跡
- 1 金谷神社

おすすめ
トレイル

1 2 金谷神社と大木戸跡

鎌倉時代に筑前太宰府天満宮から勧請したと伝えられています。江戸時代中期に5代藩主毛利吉元が現地に遷宮しました。金谷神社は金谷天満宮と呼ばれ、城下の入口に位置していました。江戸時代には金谷神社の前に萩城下町の表玄関ともいえる大木戸が設けられていて、日暮れから夜明けまでは治安維持のため城下への出入りを差し止めていました。



大木戸（八江萩名所図画）

昔の椿の様子

橋本橋から延びる街道が濁瀬の辺りで御成道と赤間関街道に分かれ、御成道の途中から椿八幡宮への参道も延びていました。三角州側から橋本橋を渡った辺りは「雑色」という下級武士の家が並んでいて、これが「雑式町」という小字の由来といわれています。小松江の辺りまで水が入って海のようになっていました。水量を調節するために設けられた樋の跡が残っています。



御成道御成道行程記（山口県文書館蔵）

おすすめ
トレイル

椿の田園風景と歴史を歩く

- 6 逆サイフォン式の用水路
- 大屋川
- 7 伝 萩の乱供養碑
- 8 葵神社
- 9 南明寺
- 10 申年の大水の碑



申年の大水
天保7年（1836）萩地方は大洪水に見舞われました。橋地区も洪水に巻き込まれ、大きな被害を受けました。この大洪水を「申年の大水」として今も語り伝えられています。



たいこいん 太鼓湾
阿武川と橋本川と松本川に分岐する場所。三角州のほじり。河原に降りて水辺の風景を愛したことで、野鳥観察スポットがあります。

上津江の晴嵐
朝露のかかった阿武川を眺める上津江の風景

六本松跡
かつてはこちらが御成道で、車窓から掛月山が見えると「萩に帰ってきた」と感じる眺めでした。

萩神社
地元の萩の供養碑と伝えられている石碑。この地には、萩原一誠が明治9年（1876）不平士族と対峙した萩の乱の激戦地でした。

伝 萩の乱供養碑
かつてこの辺りにあった六本杉から萩の乱で出たかたがうです。

南明寺
標高300mの南明寺山中腹の奥の院にある観音堂からは、椿地区と萩市街地を見下ろすことができます。

南明寺のイトザクラ
参道の入口にあるイトザクラは早く咲いてすぐに散ってしまうことから見に行くタイミングが難しく、昔から「南明寺のイトザクラ、散っちゃあ行っちゃあ見ちゃああって、咲いちゃあ行っちゃあ見ちゃあない（花が散った後に見に行く人は多いが咲いた頃に見に行く人はあまりいない）」とうたわれて親しまれてきました。



萩ウェルネスパーク
野球場やスポーツ広場、多目的体育館に大型遊具など、様々な目的で利用できる運動公園

葵神社と白牛伝説
東大寺の大仏殿を創建するとき、沖原の若者が白牛を連れて、工事の使役に参加しました。白牛が族群の働きを見せたので、聖武天皇から大いに褒められました。葵の前という地名をもらいました。しかし、葵の前は田舎暮らしに慣れず、都立に立ってばかりで、そのまま亡くなってしまいました。その姫を祀った「葵大明神」とよぶ社とタブノキが今も残っています。



とされたもので、白い柱や梁が美しい洋風をよよく残し、80年駅舎として使用され、日本の鉄道の父とされています。



記者発表（配布）資料

令和6年3月22日

所属部課	部長	課長	係長	担当	連絡先
萩市農林水産部 水産課	白神 敦司	日笠 正昭	梶本 学	伊藤 史哉	0838-25-4195

件名	「第19回萩の和船大競漕 ～おしくらごう～」 中学生・女性の部・一般の部 参加チームの募集について
----	--

玉江浦地区に藩政時代から約300年にわたり受け継がれている和船競漕「おしくらごう」。この「おしくらごう」の開催にあわせて、地域間交流、伝統文化の継承を目的とした、「第19回萩の和船大競漕」を開催します。

中学生・女性・一般の部において参加チームの募集を行いますので、お知らせします。



1. 日時

令和6年6月2日（日） 午前8時30分～午後1時（小雨決行）

2. 場所

橋本川下流域河川敷・常盤橋～玉江橋間（萩市玉江浦）

3. 内容・スケジュール（予定）

- | | | |
|------------------|------|-----------|
| ・開会式 | | 午前8時30分～ |
| ・中学生の部（予選） | 和船競漕 | 午前9時00分～ |
| ・女性の部（予選） | 和船競漕 | 午前9時30分～ |
| ・一般の部（予選） | 和船競漕 | 午前10時00分～ |
| ・中学生・女性・一般の部（決勝） | 和船競漕 | 午前11時00分～ |
| ・玉江浦「おしくらごう」 | | 午後12時00分～ |
| ・閉会式 | | 午後12時30分～ |

4. 募集概要

- ・募集期間：令和6年3月25日（月）～4月19日（金） ※必着
- ・募集方法：公募（萩市HP、防災メール等）
- ・募集部門：中学生・女性・一般の部
- ・登録人数：中学校・女性・一般の部ともに7名までとします。
出場は、漕ぎ手5名とし、舵取りの乗船もできます。
- ・出場参加料：中学生の部【無料】
女性・一般の部【一人200円（1チーム1,000円～1,400円）】
*参加料は申請時に支払い
- ・参加資格：中学生以上
- ・競技方法等：直線コース（300m）
和船には補助員が2名乗船します。
- ・競技規定：参加チーム数等により、代表者会議で決定します。
- ・表彰：各部門1位～3位（チーム数により変更の可能性有）

5. 練習日程等について

【中学生の部】

- ・5月7日（火）～5月28日（火）
＜平日＞午後3時～午後6時ごろまで
- ・練習は、1時間/回
- ・練習回数は、期間中3回まで。
- ・練習日程の調整は、水産課において行います。

【女性・一般の部】

- ・5月1日（水）～5月28日（火）
＜平日＞午後5時30分～午後7時ごろまで
＜土日＞～午後7時ごろまで
- ・練習は、1時間/回
- ・練習回数は、期間中3回まで。ただし、未経験者が4人以上の場合は、5回まで。
- ・練習日程の調整は、代表者会議において行います。

6. 代表者会議について

下記により代表者会議を行いますので、練習日程等調整の上、必ず出席してください。
会議に出席しないチームは大会への出場を認めません。

日時：令和6年4月24日（水）午後6時30分～
場所：萩市役所第3会議室（教育委員会横）
内容：競技規定について、練習日程の調整 等

7. 申込方法

萩市水産課備え付けの参加申込書（萩市HPからダウンロード可）に必要事項を記入の上、参加料を添えて、令和6年4月19日（金）までに萩市水産課へ申し込み。

8. 問い合わせ・申込先

〒758-8555 萩市大字江向510番地

萩の和船大競漕実行委員会事務局（萩市水産課 担当：梶本・伊藤）

TEL 0838-25-4195 FAX 0838-25-3770

E-mail suisan@city.hagi.lg.jp

9. 大会の中止について

- (1) 天候等により大会を中止する場合があります。
- (2) 中止の場合は、萩市公式ホームページ、防災メール等でお知らせします。
- (3) 5月31日までに大会中止となった場合、参加料は返金しますが、6月1日以降に中止の場合は返金しませんのでご了承ください。

10. 主 催

萩の和船大競漕実行委員会 会長 西村 哲幸（にしむら てつゆき）

記者発表（配付）資料

令和6年3月22日

所属部課	部長	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市商工観光部 商工振興課	村田 卓二	山本 一也	小谷 勝則	松浦 拓人	0838-25-3638

件名	萩のしごとポータルサイト「萩しごと net.」リニューアル公開について
----	--

2017年3月より公開していた、移住・定住・就職支援トータルサポートサイト「萩暮らし net.」について、萩市の移住ポータルサイト「萩暮らし応援サイト」の令和5年度リニューアルに合わせ、改修・リニューアルを行いました。

改修後は名称を改め、「萩しごと net.」として、求職者・企業間のマッチング機能を中心とした萩市の仕事情報とともに市内企業者の紹介、萩市の就業支援の紹介などを行う萩のしごとポータルサイトとして、リニューアル公開を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

記

公開日：令和6年3月25日（月）

新サイト名称：萩しごと net.

旧サイト名称：萩暮らし net.

「萩しごと net.」のご利用方法

本サイトは、萩市が運営する萩のしごとに関するポータルサイトです（利用無料）。

●登録不要でできること

- ・本サイトに登録されている各企業（移住就業支援金の対象企業）の情報の閲覧
- ・本サイト独自の求人情報（「萩しごと net.の独自求人あり」の表示あり）の閲覧
- ・ハローワークの求人情報（毎週水曜日更新）の閲覧
- ・萩の企業の魅力を発信する企業ガイドブックの閲覧
- ・求職者の方と求人企業向けの支援制度等の情報取得

●登録することでできること

◆ 求職者の方

- ・希望業種・職種・自己アピール等を登録し、求人企業とマッチング
- ・興味ありボタンで、求人企業に興味を示しコンタクトを受けやすくする
- ・自身にコンタクトを希望している求人企業一覧の表示

◆ 求人企業

- ・企業情報・求人情報の発信
- ・移住就業支援補助金の対象企業になる（詳しくはサイト内「支援制度等」を参照）
- ・求職者の方の登録情報の検索・閲覧
- ・気になる求職者の方にコンタクト希望を送り、マッチング
- ・自社に興味を持っている求職者の方の一覧の表示

新サイト「萩しごと net.」



旧サイト「萩暮らし net.」



サイトアクセス方法

URL : <https://www.hagi-shigoto.net/>

QR コード

